

第21回日本体力医学会東北地方会のご案内

日 時 平成24年 6月16日（土曜日）
会 場 仙台大学（宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18）
日 程

8：30～ 受付開始
9：00～11：00 一般研究発表（B棟203・204教室）
11：10～11：30 東北地方会総会（B棟203教室）
11：40～12：40 特別講演（B棟300教室）
13：00～15：00 ランチョンシンポジウム
（25記念館学生食堂）

特別講演

テーマ：「被災地における健康づくり支援」
司 会：山崎省一（石巻専修大学理工学部 教授）
講 師：橋本 実（仙台大学体育学部 教授）

ランチョンシンポジウム

テーマ：「ジュニアアスリート育成の現状・課題・展望」
司 会：永富良一（東北大学大学院医工学研究科 教授）

シンポジスト：

今関 勝（東北楽天ゴールデンイーグルスベースボールチーム ジュニアヘッドコーチ）
井上和徳（ベガルタ仙台 育成部普及ディレクター）

間橋健生（仙台89ERS ゼネラルマネージャー・スクールコーチ）
鈴木省三（仙台大学体育学部教授・伊達なスポーツプロジェクト代表者）

会場へのアクセス

仙台大学ホームページ（<http://www.sendaidaigaku.jp/>）
をご参照ください。

お問い合わせ先

日本体力医学会東北地方会第21回大会事務局
〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18 仙台大学内
[大会参加・演題申込担当]

担当：竹村 英和（大会実行委員）
TEL・FAX：0224-55-1319（直通）
E-mail：hd-takemura@sendai-u.ac.jp

[大会全般に関するお問い合わせ]

担当：高橋 弘彦（大会事務局長）
TEL・FAX：0224-55-3002（直通）
携帯：090-3648-3154
E-mail：hr-takahashi@sendai-u.ac.jp

「第29回筋肉の会」・「第29回筋電図の会」のご案内（第1報）

平成24年度も「第29回筋肉の会」・「第29回筋電図の会」
を下記の通り、日本体力医学会大会前日に岐阜市で開催
致します。どうか奮ってご参加頂くと共に、関係各位へ
お知らせ頂きますようご案内申し上げます。なお、詳細
（発表者、演題名、懇親会等）については第2報（体力
科学61巻4号、8月1日発行）に掲載する予定です。

日 時：平成24年 9月13日（木）
第67回日本体力医学会大会前日 15：00～17：00
会 場：調整中
参加費：1,000円（事務連絡費、会場費、AV機材借用費等）
研究会の当日、受付にて申し受けます。
懇親会：研究会終了後に「筋肉の会」と「筋電図の会」
の合同で行う予定です。詳細につきましては第
2報で改めてお知らせいたします。

世話人：「筋肉の会」

東京慈恵会医科大学
分子生理学講座体力医学研究室 山内秀樹
〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1
TEL：03-3480-1151 内線2445
FAX：03-3480-4591
e-mail：yamauchi@jikei.ac.jp

「筋電図の会」

千葉大学教育学部保健体育教室 小宮山伴与志
〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL：043-290-2621, FAX：043-290-2519
e-mail：komiyama@faculty.chiba-u.jp

第20回日本発汗学会総会のご案内

1. 会 頭：森本 恵子（奈良女子大学生生活環境学部教授）
2. 会 期：平成24年 8月24日（金）、25日（土）
3. 会 場：奈良女子大学（近鉄奈良駅より徒歩5分）
〒630-8506 奈良市北魚屋西町

4. プログラム：

- 1) 特別講演
 - 1 「日本発汗学会20年のあゆみと将来展望 - 自らの
手掌部発汗研究のあゆみと照らし合わせて -」
大橋俊夫先生（信州大学医学部器管制御生理学）
 - 2 「交感神経が生体機能統合に果たす役割」
三木健寿先生（奈良女子大学大学院）
- 2) シンポジウム

1 「発汗異常の基礎と臨床」

オーガナイザー：玉田康彦先生（愛知医科大学皮膚科）
岩瀬敏先生（愛知医科大学生理学）

2 「非温熱性発汗調節」

オーガナイザー：鷹股亮先生（奈良女子大学生生活環境学部）
芝崎学先生（奈良女子大学大学院）

3 睡眠環境と発汗（仮題）（第21回睡眠環境学会 との合同シンポジウム）

3) 一般演題

4) 機器展示

5. 演題募集：一般演題を募集いたします。

演題登録（問い合わせ）先：hakkan20@cc.nara-wu.ac.jp

6. 総会事務局

〒630-8506 奈良市北魚屋西町
奈良女子大学生生活環境学部生活健康学講座 芝崎学
TEL：0742-20-3992 FAX：0742-20-3578
E-mail：hakkan20@cc.nara-wu.ac.jp

7. 応募資格：演者並びに共同演者は日本発汗学会の会員に限ります。非会員の方は右記の学会事務局まで連絡のうえ、入会の申し込み

をお願いいたします。

8. 日本発汗学会事務局

〒390-8621 松本市旭3丁目1-1
信州大学医学部器官制御生理学講座内
日本発汗学会事務局
TEL：0263-37-2597 FAX：0263-36-5149
E-mail：jspr@shinshu-u.ac.jp

第156回日本体力医学会関東地方会のご案内

開催日：平成24年12月8日(土) 13：00より(予定)

会場：東京農工大学府中キャンパス

(東京都府中市幸町3-5-8)

最寄り駅：①JR武蔵野線北府中駅より徒歩約12分、②JR中央線国分寺駅南口2番乗場から府中駅行バス(明星学苑経由)で約10分、③京王線府中駅北口バスターミナル2番乗場から国分寺駅南口行バスで約7分(晴見町バス停下車)

(http://www.tuat.ac.jp/basic_information/access/index.html)

当番幹事：下田政博(東京農工大学・大学院農学研究院・健康アミニティ科学)

TEL：042-367-5642(FAX同じ)

E-mail：shimoda@cc.tuat.ac.jp

【予定プログラム】

1. 特別講演(予定)タイトル等未定
2. シンポジウム(予定)テーマ等未定
3. 一般研究発表(口演のみ、シンポジウム終了後)

・発表時間：1演題11分を予定(発表8分、質疑応答3分)

・発表形式：PCのみ(スライドやビデオ等は不可)

・会場で使用するOSは、Windows7です。

・演題を申し込みいただいた方には、発表用データの作成・持込に関する詳細につきまして、あらためてご連絡いたします。

※参加費無料(日本体力医学会非会員の方は、¥1,000)

【一般演題の申込要領】

演題題目、発表演者名および共同演者名とその所属、口演要旨(400字程度)、連絡先(氏名、所属先、郵便番号、住所、電話およびファクス番号、E-mailアドレス)をワードにて作成し、添付ファイルにて下記のE-mailアドレスまでお送りください。

※一般演題のメ切：平成24年11月3日必着

問合せ・送信先：下田(東京農工大)

E-mail：shimoda@cc.tuat.ac.jp

公益財団法人 上原記念生命科学財団

平成24年度研究助成および海外留学助成等の交付対象者募集

1. 研究助成募集要項

(1) 助成対象課題-生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する次の諸分野の研究

(イ) 東洋医学、体力医学、社会医学、栄養学、薬学一般

(ロ) 基礎医学(上記以外)

(ハ) 臨床医学(上記以外)

(2) 助成対象者-上記研究に意欲的に従事する日本在住の研究者で「3. 応募方法その他(2) 推薦者」の推薦を受けた者

(注) 研究推進特別奨励金は、医学部(大学院医学研究科)と薬学部(大学院薬学研究科)に限る

(3) 助成の種類および金額

(イ) 研究助成金

◇年齢不問、単独研究でも共同研究でもよい

◇1件500万円、助成件数70件

(ロ) 研究奨励金

◇若手研究者で昭和50年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制の学部卒業者は昭和48年4

月1日以降出生の者

◇1件200万円、助成件数90件

(ハ) 研究推進特別奨励金

◇医学部(大学院医学研究科)または薬学部(大学院薬学研究科)において平成22年4月以降に独立した研究室またはチームを立ち上げた、昭和42年4月1日以降出生の日本在住の教授(特任教授、准教授は除く)

◇1件400万円、助成件数10件

(4) 助成金の使途-研究に要する物品の購入その他研究推進に必要な費用とする

2. 海外留学助成(上原フェローシップ)募集要項

(1) 助成対象者-研究助成と同じ課題の研究を行う研究者で次の条件を満たす者

(イ) 研究助成と同様に「3. 応募方法その他(2) 推薦者」の推薦を受けた者

(ロ) 原則として平成25年1月1日~12月31日の間に新たに海外留学に出立する者(但し、事情によ

ては年内に出立する者も対象とする)

- (ハ) 1年間以上の海外留学を受け入れる大学等学術機関が決定している者
- (2) 助成の種類及び金額
- (イ) リサーチフェロースhip
- ◇研究奨励金と同じ年齢要件を満たす若手研究者
 - ◇博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者
 - ◇1件 400万円以内の必要額、助成件数 約65件
- (ロ) ポストドクトラルフェロースhip
- ◇昭和54年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制の学部卒業者は昭和52年4月1日以降出生の者
 - ◇助成期間中無収入の者
 - ◇博士号を有するか、または平成25年4月までに取得見込の者
 - ◇1件 400万円以内、助成件数 約35件
- 尚、海外留学助成(イ)(ロ)の選考段階での成績優秀者に対し、2年間の助成を行う

3. 応募方法その他(研究助成および海外留学助成共通)

※研究推進特別奨励金のみ推薦者が異なる

- (1) 応募方法－当財団ホームページの手順に従い応募する
- (2) 推薦者－
- (イ) 大学関係
- 総合大学：大学院研究科長（または学部長）^{注1)}
単科大学：学長
- 財団理事会が承認した大学附置研究所等：代表責任者大学共通組織^{注2)}（研究センター、研究施設等）：学長
- 注1) 薬学研究科、薬学部等同一の研究科、学部の場合はいずれか1件の推薦とする
- 注2) 原則研究センター長、施設長および病院長は推薦者となることができない
- (ロ) 大学以外の研究機関：当財団理事会が承認した研究機関の代表責任者
- ※研究推進特別奨励金：大学長（1大学1件の推薦とする）
- (3) 応募期間－平成24年6月11日～平成24年9月7日

- (4) 選考方法－選考委員会で選考し、理事会で決定する
- (5) 採否の通知－平成24年12月中に応募者宛通知する
- (6) 助成金の交付－平成25年1～3月の間に贈呈する

4. その他の助成金

(イ) 来日研究生助成

- ◇わが国の大学院の博士課程(前期/後期)に入学するために来日し、生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する研究を行う研究者で次の条件をいずれも満たす者
(申請時点で大学院入試を受験していない者および合否が未定の者でも応募可とするが不合格となった場合は当財団へ申請取り下げの連絡が必要)
- (1) 日本以外の国籍を有する者
- (2) わが国における研究終了後帰国し、教育もしくは研究に従事する者
- (3) 他の奨学金、助成金を受けていない者
- (4) 1年以上の研究を行う者
- (5) 英語検定 (TOEIC, TOEFL) または日本語検定を受検した者

◇月額15万円（助成期間は1年以上2年以内）助成件数 10件以内

◇応募期間－平成24年6月11日～平成24年9月7日

◇推薦者－大学長（1大学1件の推薦とする）

※応募方法、選考方法、採否の通知については上記「3. 応募方法その他」と同じ

(ロ) 国際シンポジウム開催助成金

◇わが国で開催される国際的な研究集会に対する助成

◇応募期間－平成24年6月11日～平成24年9月28日

※詳しくは当財団ホームページをご覧ください

5. 申請書提出先および連絡先

〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目26番3号

公益財団法人 上原記念生命科学財団

TEL (03) 3985-3500, 8400 FAX (03) 3982-5613

E-mail: uehara-f@jade.dti.ne.jp

Homepage: <http://www.ueharazaidan.or.jp>

日本医学会だより

JAMS News

2012年5月 No. 47
日本医学会

◆第79回日本医学会定例評議員会

平成24年2月22日に開催された。平成23年度年次報告、平成24年度事業計画の報告の他、第28回日本医学会総会終了報告、第29回日本医学会総会準備状況の説明があった。協議事項として学会長、副会長、幹事の選挙が行われ、会長に高久史磨、副会長に清水孝雄、久道茂、門田守人、幹事に野田哲生、相澤好治、池田康夫の各氏が選出された。任期は会長、副会長が平成24年4月1日から2年間、幹事は4年間。

平成23年度新規加盟学会は、日本脊椎脊髄病学会、日本緩和医療学会の2学会が承認され、112学会となった。また、「日本医学会法人化の件」が協議され、法人格を持つことと各学会が負担金を支出すること等が了承された。

◆第29回日本医学会総会 2015 関西

第29回日本医学会総会は、平成27年4月11日～13日、井村裕夫会頭の下、「健康社会のためのきずなの構築-医学と医療制度の未来を拓く」をテーマに、関西地区で開催することが決定している。副会頭は本庶 佑、山岸久一、平野俊夫、高井義美、森 洋一、準備委員長に三嶋理晃、幹事長に平井豊博が決定している。

◆日本医学会加盟検討委員会

平成23年度第1回日本医学会加盟検討委員会は、平成23年6月8日に開催され、日本医学会加盟検討委員会報告(平成23年7月)がまとめられた。本報告の新たな審査基準に則り、平成23年12月14日に開催された平成23年度

第2回日本医学会加盟検討委員会で加盟申請の25学会についての審査を慎重に行い、その結果を平成24年1月12日の日本医学会協議会で高久会長に報告した。

◆日本医学雑誌編集者会議

平成24年3月13日に開催された第8回日本医学雑誌編集者組織委員会において、「医学雑誌のオープンアクセス」をテーマとして、「第5回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第5回シンポジウム」を開催することが決定した。テーマ：医学雑誌のオープンアクセス、平成24年11月21日(水)、13:00～16:00、日本医師会館小講堂で開催の予定。

また、アジア太平洋医学雑誌編集者会議(APAME)・日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)合同会議を平成25年8月に開催予定であることやWPRIM掲載日本発行雑誌の現状が報告された。

◆日本医学会臨床部会運営委員会

臨床部会運営委員会は、日本医学会分科会の10の基本領域学会と2つのSubspecialty学会から委員構成されている。

運営委員会の下部組織として、平成23年度から、「遺伝子・健康・社会」検討委員会が設置された。

◆日本医学会臨床部会利益相反委員会

臨床部会利益相反委員会は、平成24年3月14日開催の第4回委員会において、「医学研究

における産学連携の透明化と COI マネージメント」をテーマとして、「第 3 回日本医学会分科会利益相反会議」を開催することが決定した。テーマ：医学研究における産学連携の透明化と COI マネージメント，平成 24 年 11 月 22 日（木），13：00～16：20，日本医師会館小講堂で開催の予定。

また，第 2 回日本医学会分科会利益相反会議参加者へのアンケート調査結果等が報告された。

◆日本医学会医学用語管理委員会

平成 23 年 12 月 20 日に平成 23 年度日本医学会分科会用語委員会を開催した。「日本医学会医学用語辞典と分科会用語辞典の調整について」「日本医学会医学用語辞典和英について」「ICD10 対応標準病名集マスターの現状報告」「第 4 回日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE)・第 4 回シンポジウム報告」等が主な議題であった。

◆第 13 回日本医学会公開フォーラム

「認知症の早期診断・治療とケア」をテーマに，平成 24 年 6 月 9 日（土）13：00～16：00，日本医師会大講堂において開催する。組織委員長：岩坪 威・東京大学大学院医学系研究科教授。市民を対象とした公開フォーラムであり，参加希望者は，郵便はがき，FAX，本会ホームページ (<http://jams.med.or.jp/>) のいずれかの方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは，下記のとおり。終了後，ホームページにて映像配信する。1. 認知症の早期診断・治療とケア：序論/岩坪 威（東京大学大学院医学系研究科教授・神経病理学），2. 認知症と軽度認知障害/朝田 隆（筑波大学医学医療系臨床医学域教授・精神医学），3. 認知症を画像で診る/石井賢二（東京都健康長寿医療センター研究所研究部長），4. 認知症のリハ・ケアー脳活性化リハビリテーションで進行を防ぎパーソンセンタードケアで穏やかに暮らす/山口晴保（群馬大学大学院保健学研究科教授・リハビリテーション

学），5. 家族の立場から/杉山邦博（日本福祉大学生涯学習センター長）

◆第 142 回日本医学会シンポジウム

「糖尿病治療の最近の進歩」をテーマに，平成 24 年 6 月 21 日（木）13：00～17：00 に，日本医師会館大講堂において開催予定。組織委員は，春日雅人，河盛隆造，門脇 孝の各氏。参加希望者は，上記フォーラムと同じ方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは，下記のとおり。終了後，ホームページにて映像配信する。序論/春日雅人（国立国際医療研究センター），I. 糖尿病の病態と診断 1. 糖尿病の診断と病態の評価の進め方/植木浩二郎（東大），2. 糖尿病の合併症とその評価の進め方/羽田勝計（旭川医大）II. 糖尿病治療の考え方 1. 治療の目標とエビデンスの考え方/荒木栄一（熊本大）2. 食事・運動療法の考え方/渥美義仁（東京都済生会中央病院）3. 薬物療法の考え方/加来浩平（川崎医大），III. 糖尿病の薬物療法の実例 1. インスリン分泌促進薬/綿田裕孝（順天堂大）2. インスリン抵抗性改善薬/戸邊一之（富山大）3. インクレチン関連薬/稲垣暢也（京大）4. インスリン療法/難波光義（兵庫医大）

◆医学賞・医学研究奨励賞

平成 24 年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞（旧医学研究助成費）の推薦依頼を日本医師会雑誌の 5 月号に公示。要項は本会に問い合わせいただきたい。受付期間は，5 月 15 日～7 月 5 日。推薦書は，公示日より日本医師会ホームページ (<http://www.med.or.jp/>) からダウンロードできる。

◆日本医学会への加盟申請

平成 24 年度の日本医学会への新規加盟申請は，5 月 15 日に公示（日本医師会雑誌等）し，7 月 31 日に締め切る。申請書は，公示日から本会ホームページ (<http://jams.med.or.jp/>) にてダウンロードできる。

編 集 後 記

「体力科学」第61巻3号をお届けします。本号には総説論文3編、原著論文7編、教育講座論文1編が掲載されています。

「体力科学」への投稿論文の審査方法については、体力科学投稿規定のⅡで「原稿の採否は、原則として2名の査読審査により編集委員会にて決定する」と定められています。2名の査読者による査読結果が一致すれば、編集委員会はあまり「悩む」ことなく審査を進められますが、査読結果が異なる場合、例えば1名は「要修正」、もう1名は「掲載不可」となった場合は編集委員会が最終判定を行うために「悩み」ます。私が編集委員として担当した論文のうち、1回目の査読結果が「要修正」と「掲載不可」に分かれたのは約3分の1でした。他の学会誌では、3人目の査読者に依頼するところもありますが、本誌のやりかたの方が迅速に審査を進めることができます。但し、編集委員会の負担は大きくなります。

「私ごときが編集委員をしていいのだろうか」とふとわれに返る時があります。論文の審査をするのですから

責任重大です。しかし、学会誌は「会員相互に論文を審査し合うことで成り立っている」ので、誰かが行わなければならないのだと言い聞かせて委員の仕事が続けています。査読をしていただいている会員の方も同じ気持ちだと思います。私が編集委員として気をつけていることは「掲載できるように努力する」ことと「公正に審査する」ことです。理想は、すべての投稿論文が掲載されることですが、実際の掲載率は、私の担当分でいえば約3分の1です。掲載不可と判定される主な理由は、①記述内容が不正確あるいは曖昧、②研究計画が不適切、③研究目的が不適切あるいは曖昧、④独創性または新規性が不明瞭、などです。

査読をお願いするのはほとんどが会員の方です。査読は会員の義務ともいえますが、そうは言っても、査読には多くの時間と責任がかかります。これまで査読を引き受けて頂いた会員の皆様には心から感謝します。そして、これからも多くの論文投稿を期待するとともに論文査読のご協力を宜しくお願いします。

淵本隆文

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol. 61, No. 3

体 力 科 学 第 61 巻 第 3 号

平成 24 年 5 月 25 日 印 刷

平成 24 年 6 月 1 日 発 行

編集兼発行者 鈴木政登
 発行所 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階
 一般社団法人 学会支援機構
 日本体力医学会
 編集事務局 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
 鶴岡印刷株式会社内
 「体力科学」編集事務局
 TEL・FAX(共通) 0235-22-3120
 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
 印刷所 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
 鶴岡印刷株式会社